表 1・1　健康日本 21（第二次）のおもな目標

		項　目	現　状			目　標	
					年		年
健康寿命の延伸と健康格差の縮小		健康寿命の延伸（日常生活に制限のない期間の平均の延伸）	男 70.42 年 女 73.62 年		2010	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	2022
生活習慣病の発症予防と重症化予防	がん	がん検診の受診率の向上	胃がん，肺がん，大腸がん			40%	2016
			子宮頸がん，乳がん			50%	
	循環器疾患	メタボリックシンドロームの該当者および予備群の減少	1400 万人		2008	25%減少	2015
		特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	特定健康診査	41.30%	2009	70%	2017
			特定保健指導	12.30%		45%	
	糖尿病	糖尿病有病者の増加の抑制	890 万人		2007	1000 万人	2022
社会生活を営むために必要な機能の維持・向上	こころの健康	メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加	33.6%		2007	100%	2020
	次世代の健康	全出生数中の低出生体重児の割合の減少	9.6%		2010	減少傾向へ	2014
	高齢者の健康	低栄養傾向（BMI 20 以下）の高齢者の割合の増加の抑制	17.4%		2010	22%	2022
生活習慣および社会環境の改善	栄養・食生活	食塩摂取量の減少（成人・1 日平均）	10.6 g		2010	8 g	2022
		野菜と果物の摂取量の増加（成人・1 日平均）	野菜摂取量	282 g	2010	350 g	2022
	身体活動・運動	日常生活における歩数の増加	20 ～ 64 歳	男 7841 歩	2010	9000 歩	2022
				女 6883 歩		8500 歩	
		運動習慣者の割合の増加	20 ～ 64 歳	男 26.3%	2010	36%	2022
				女 22.9%		33%	
	喫煙	成人の喫煙率の減少（喫煙をやめたい者がやめる）	19.5%		2010	12%	2022
	歯・口腔の健康	歯の喪失防止	80 歳で 20 歯以上の者	25.0%	2005	50%	2022

丸善出版「衛生薬学　第6版　健康と環境」, p8

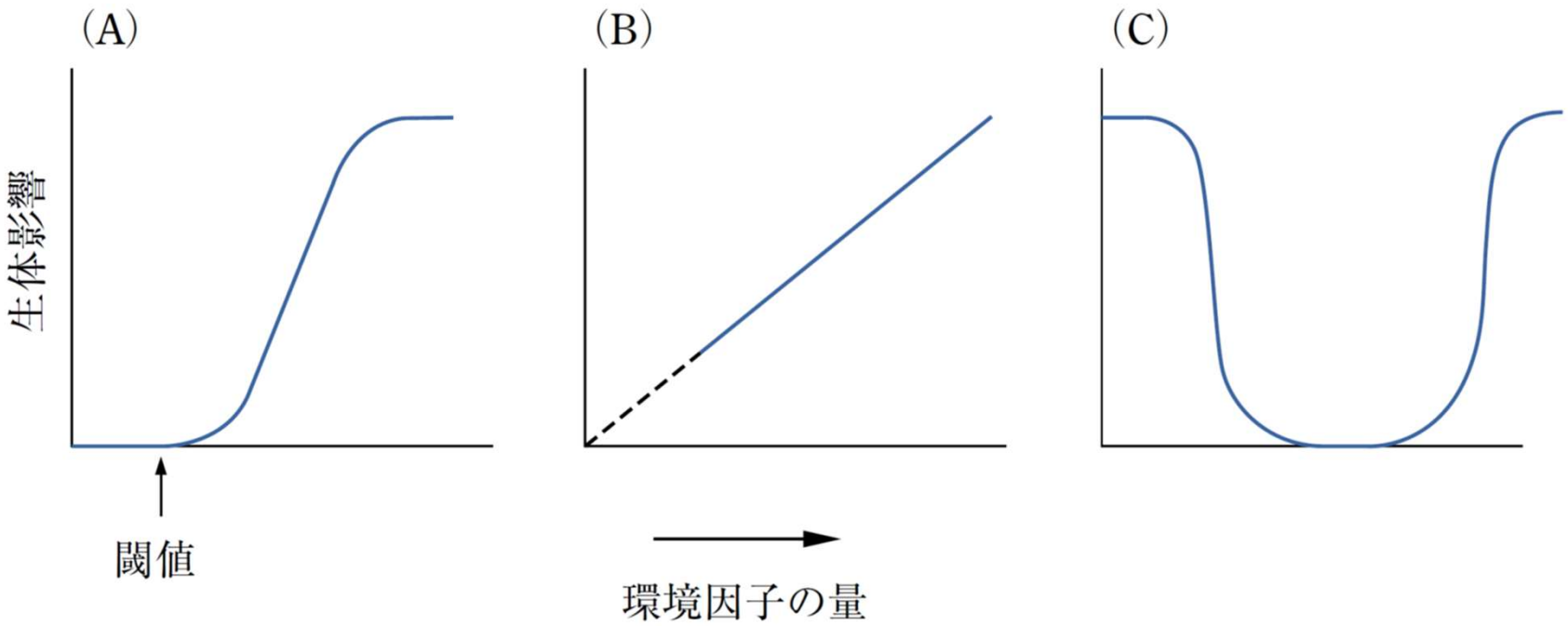

図 1・2　環境因子の量と生体影響との関係の 3 種類のパターン

丸善出版「衛生薬学　第6版　健康と環境」, p12